

令和7年度 期末評価結果

共同利用・ 共同研究拠点名	発達障害研究拠点
大学等名 (研究施設名)	昭和医科大学（発達障害医療研究所）
評価区分 (期末評価結果)	A
評価コメント	<p>本拠点は、蓄積された臨床集積を活用した共同研究を目的とし、脳科学研究用機器も活用して発達障害の病態生理・治療法開発に向けて研究を進め、臨床資源を広く全国の研究者に公開することにより、医学のみならず人文社会科学系研究者との文理融合型共同研究拠点としての役割を担う拠点活動を実施している。拠点としての活動は概ね順調に行われており、関連コミュニティへの貢献もあり、今後も、共同利用・共同研究拠点を通じた成果や効果が期待される。</p> <p>コロナ禍による停滞はあったものの、インパクトファクターの高いジャーナルへの論文採択等一定の成果を挙げている。また、ヒトの社会性・共感性の解明に向けたデータベースを発展的に整備するとともに、実践的な研究フィールドとして他の拠点間とでネットワークを構築し拠点活動の充実を図っている。一方、科研費等の外部資金の獲得及び人文社会系をはじめとした異分野の研究者との融合領域の研究等は必ずしも十分とはいえない。</p> <p>今後は、蓄積された調査データを活用した共同利用・共同研究の更なる活性化を図り、拠点として研究成果を積極的に発信していくことが期待される。</p>